

授業科目名	【G】 地誌学概論		区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			その他参照					
科目区分	基本科目:教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・・・・)							
授業形態	オンライン授業(動画・音声配信型)							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(中社必修・地歴必修・・・・)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「地理学(地誌を含む)」「(中一種免社会)							
	「地誌」(高一種免地歴)							
サブタイトル	地域性の形成				担当者	伊藤 修一		
授業概要	【概要】	地理学での地域の捉え方の一つの方法として、様々な事象を総合的に捉えて地域について記述する地誌的な方法がある。この授業では日本全体や日本を構成する地方の地域的事象を項目ごとに概説したうえで、独特の特徴(地域性)がどのようにしてつくり上げられているのかを解説していく。折に触れて、日本や地方を地誌的な方法で説明してもらう機会を設ける。						
	【到達目標】	系統地理学と地誌における地域の捉え方の違いを理解できること、地域の自然・人文的な特徴を多面的に理解できること、それらの特徴を互いに関連させながら地域を具体的に説明できることを目標とする。						
履修条件	パソコン(Windows OS)で受講すること。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	地理学概論と自然地理学Ⅰ／Ⅱ、人文地理学Ⅰ／Ⅱの履修を済ませていることが望ましい。							
教科書	中学校・高校などで用いた地図帳。それに加えて、授業中に適宜資料を配布する。							
参考書	授業の中で適宜紹介する。							
評価方法	学習到達度を確認する課題(50%程度)と、毎回実施予定の小テスト・課題への取り組み(50%程度)に基づいて総合的に評価する。							
フィードバック方法	小テスト・課題や学習到達度の確認に関する解説などは、Google Classroom内で行う予定である。							
評価基準	授業内容をよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。授業内容の理解や表現が不適切な者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容の理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。欠試などで評価不能な場合は「F」とする。							

授業科目名	【G】 地誌学概論	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
		その他参照					
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス／地誌とは？	予習： 授業内容などを理解するためのシラバスの熟読。(90分)					復習： ガイダンス内容の確認と地誌の学問的特徴の整理。(90分)
2	地域区分の目的と意義	予習： 地誌的な視点や考え方の確認。(90分)					復習： 対象地域とスケールとの関係や地誌的な視点の種類の整理。(90分)
3	日本の位置と地形	予習： 地図帳を用いた地球上における日本の位置の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。山脈・平野・河川の分布や形成の特徴の整理。(90分)
4	日本の位置と気候	予習： 地図帳を用いた地球上における気候帯分布の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。気候分布と気候因子、雨温図の特徴の整理。(90分)
5	日本の位置と領域	予習： 地図帳を用いた近隣国や海域の名称と位置の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。時差の考え方や日本の領域をめぐる課題の整理。(90分)
6	日本の人口と産業	予習： 地図帳を用いた政令指定都市の名称と位置の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。人口・産業構造の特徴と地域的分布の特徴の整理。(90分)
7	日本の産業と交通	予習： 産業構造の特徴と地域的分布の特徴の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。交通網整備の特徴と地域産業発展との関係の整理。(90分)
8	静態地誌的な日本の考察実践(1)―考察実践【AL】	予習： 第3～7回で学修した諸項目の特徴の確認。(90分)					復習： 項目どうしの結びつきを意識した考察内容の見直し。(90分)
9	静態地誌的な日本の考察実践(2)―他者評価と自己評価【AL】	予習： 項目どうしの結びつきを意識した考察内容の改善。(90分)					復習： 他者評価も参考にした考察内容の見直し。(90分)
10	地方の静態地誌(1)―自然環境面を中心に【AL】	予習： 地方の地誌に関するワークシートの完成。(90分)					復習： ワークシートの見直し。項目どうしの結びつきを考察。(90分)
11	地方の静態地誌(2)―産業・経済・社会環境面を中心に【AL】	予習： 地方の地誌に関するワークシートの完成。(90分)					復習： ワークシートの見直し。項目どうしの結びつきを考察。(90分)
12	地方の動態地誌(1)―世界や日本全体における地方の位置づけ	予習： 第10・11回の内容を基にした地方の概観の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。授業で紹介された地域性とその形成過程の整理。(90分)
13	地方の動態地誌(2)―地方の課題と克服への取り組み	予習： 世界や日本に対する地方の特殊性とその背景の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。授業で紹介された地域性とその形成過程の整理。(90分)
14	動態地誌的な地方の考察実践【AL】	予習： 第12・13回で学修した地方の地域性の確認。(90分)					復習： 小テストの見直し。地域性の形成過程を中心とした考察内容の見直し。(90分)
15	学習到達度の確認と質疑応答	予習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域・事象の確認。(90分)					復習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域・事象の説明。(90分)
その他	シラバスとともに第1回授業の内容も随時確認して、学習に努めること。Google Classroomの限定公開のコメント欄より随時質問や相談が可能となっている。 ※G加：【選択必修(イ)】						